

国際医療学講座 (感染制御部を含む)

著 書

- 1 Yosuke Aoki: Treatment strategy for influenza viral infection in adolescent: What is the current adolescent treatment?. *Influenza: Advances in Diagnosis and Management (Respiratory Disease: Diagnostic Tools and Disease Managements)*, Chapter14, 137-146. Springer Nature, Singapore 2020, 11.
- 2 青木洋介：抗菌薬適正使用生涯教育テキスト（第3版）の発行に寄せて. 抗菌薬適正使用生涯教育テキスト（第3版），4. 日本化学療法学会. 東京 2020, 10.
- 3 青木洋介：抗インフルエンザ薬. 抗菌薬適正使用生涯教育テキスト（第3版），271-277. 日本化学療法学会. 東京 2020, 10.
- 4 青木洋介：感染症. カラーで学べる病理学（第5版・2刷），I. 総論，第7章，87-98. スーヴェルヒロカ. 東京 2020, 12.
- 5 浦上宗治：感染症 深在性真菌症. 救急・集中治療（31巻4号）ICU治療指針 III, V. 感染症と管理, 1715-1718. 総合医学社. 東京 2020, 3.
- 6 浦上宗治：感染症 ESBLとAmpC型 β ラクタマーゼ産生グラム陰性桿菌感染症. 救急・集中治療（31巻4号）ICU治療指針 III, V. 感染症と管理, 1744-1747. 総合医学社. 東京 2020, 3.
- 7 浦上宗治：5. 発熱性好中球減少症患者. 月刊薬事 2020年7月増刊号 薬物動態・薬物相互作用・薬物アレルギーから最適化 スペシャル・ポピュレーションの抗菌薬投与設計, 第3章特殊病態の患者. じほう. 東京 2020, 7.
- 8 浦上宗治：Therapeutic drug monitoring (TDM). 抗菌薬適正使用生涯教育テキスト（第3版），89-95. 日本化学療法学会. 東京 2020, 10.
- 9 浦上宗治：カルバペネム系抗菌薬. 抗菌薬適正使用生涯教育テキスト（第3版），123-129. 日本化学療法学会. 東京 2020, 10.
- 10 濱田洋平：臨床的に重要な細菌 グラム陽性桿菌. 抗菌薬適正使用生涯教育テキスト（第3版），35-41. 日本化学療法学会. 東京 2020, 10.

総 説

- 1 青木洋介：Advanced & Focus 特集：スタッフはすぐに対応できますか？ありがちな困ったケースで学ぶ！結核対策(1)「今日の結核」の基本的な知識. *INFECTION CONTROL*, 特集：病院経営への打撃, スタッフの疲弊…ピンチはチャンス！医療関連感染アウトブレイクの影響とリカバー, 29(10)：66-69, 2020, 10.
- 2 青木洋介：学術講演記録 医師の処方行動の背景：What Doctors See and How Doctors Think – 2019年1月29日（公）日本感染症医薬品協会 メディカル・サイエンスセミナー. *Jpn. J. Antibiotics*, 73(1)：19-29, 2020, 3.
- 3 青木洋介：発熱の検査と診断の進め方. *臨牀と研究* 特集：発熱診療のポイント, 97(10)：1195-1201, 2020, 10.
- 4 青木洋介：教育研修講座 感染対策と抗菌薬適正使用. *日本整形外科学会雑誌*, 94(7)：465-471, 2020, 7.

- 5 浦上宗治：抗菌化学療法認定薬剤師：抗菌化学療法のすゝめ－大切なことは感染症から学んだ－、週刊 薬事新報（9月10日号） No.3166, 12-14, 2020, 9.
- 6 浦上宗治：Advanced & Focus 特集：ICT/AST 活動における4職種別でみる重要ガイドライン, 3. 薬剤師の立場からみたガイドライン. INFECTION CONTROL 特集：(Download) 感染症シーズン① 明日から使えるマニュアル&研修 決定版 ノロウイルス・インフルエンザ必須レクチャー 8, 29(11)：98-102, 2020, 11.
- 7 浦上宗治：グラトレ：No Gram's stain, No judicious use（第1回）58歳・男性. 膝関節の腫脹と疼痛で受診. 主治医から抗菌薬選択の相談を受けた. 提案は？. 月刊薬事, 62(5)：875, 963-966, 2020, 4.
- 8 浦上宗治：グラトレ：No Gram's stain, No judicious use（第2回）54歳・男性. 不明熱の精査のために入院. 入院2日目, 入院時に提出された血液培養が陽性となり主治医から抗菌薬選択の相談を受けました. 提案は？. 月刊薬事, 62(6)：1059, 1145-1151, 2020, 5.
- 9 浦上宗治：グラトレ：No Gram's stain, No judicious use（第3回）51歳・女性. 発熱と咳嗽で救急外来を受診. 市中肺炎の診断で入院となり, スルバクタム／アンピシリンの投与が開始された. 入院翌日に血液培養が陽性となり, 主治医から抗菌薬の選択について相談を受けた. 提案は？. 月刊薬事, 62(8)：1507, 1597-1602, 2020, 6.
- 10 浦上宗治：グラトレ：No Gram's stain, No judicious use（第4回）59歳・男性. 2日前に右下肢を機械にぶつけて打撲. その後, 右下肢の疼痛が悪化し, 悪寒戦慄や意識障害もみられるようになったため救急外来を受診. 右下肢の壊死性軟部組織感染症の診断で入院となり, 即日デブリードマンが行われた. 抗菌薬は主治医にてメロペネムとバンコマイシンの2剤併用が開始された. 入院2日後に血液培養が陽性となり, 主治医から抗菌薬の選択について相談を受けた. 提案は？. 月刊薬事, 62(9)：1695, 1783-1788, 2020, 7.
- 11 浦上宗治：グラトレ：No Gram's stain, No judicious use（第5回）66歳・女性. 悪寒戦慄を伴う発熱と右側の腰痛があり受診. 尿沈渣で多数の好中球と細菌が検出されたため尿路感染症の診断で入院となり, 抗菌薬はセフトリアキソンが開始された. 入院2日目に血液培養が陽性となり, 主治医から抗菌薬の選択について相談を受けた. 提案は？. 月刊薬事, 62(11)：2099, 2171-2177, 2020, 8.
- 12 浦上宗治：グラトレ：No Gram's stain, No judicious use（第6回）79歳・女性. 切除不能な胆のうがんで抗がん薬治療中(ゲムシタピン・シスプラチン療法). 今回, 38℃の発熱・悪寒と嘔吐があったため救急外来を受診し, 血液検査で肝障害の所見がみられたことから胆管炎の診断で入院. これまで胆道感染症の既往はなく, 最近の抗菌薬投与歴はなかった. 入院後, 抗菌薬はセフトリアキソン開始となった. 入院2日目に血液培養が陽性となったため主治医から抗菌薬選択について相談を受けた. 提案は？. 月刊薬事, 62(12)：2255, 2373-2380, 2020, 9.
- 13 浦上宗治：グラトレ：No Gram's stain, No judicious use（第7回）胆のうがんにに対して胆のう摘出と肝前区域切除術を受けた79歳・女性. 術後に肝臓の切除面や胆管と空腸の吻合部から胆汁漏があり, ドレーンチューブが留置されている. 術後95日目に発熱と嘔吐があり, 腹部造影CTを施行したところ, 肝切除面に膿瘍がみられたため手術部位感染症としてスルバクタム／アンピシリンが開始された. 術後96日目に前日提出の血液培養が陽性となり, 主治医から抗菌薬の選択について相談を受けた. 提案は？. 月刊薬事, 62(13)：2463, 2551-2558, 2020, 10.

- 14 浦上宗治：グラトレ：No Gram's stain, No judicious use（第8回）慢性硬膜下血腫で血腫除去術が施行された84歳・男性。術後19日目に39.1℃の発熱があり，末梢静脈カテーテル刺入部に疼痛と腫脹がみられたためカテーテル関連血流感染症を想定してセフトリアキソンが開始されていた。頭部MRIが撮影されたものの手術部位感染症の所見はみられなかった。術後20日目に前日（セフトリアキソン開始前）に提出された血液培養が陽性となり，主治医から抗菌薬の選択について相談を受けた。提案は？。月刊薬事，62(15)：2891, 2979-2987, 2020, 11.
- 15 浦上宗治：グラトレ：No Gram's stain, No judicious use（第9回）一過性脳虚血発作（transient ischemic attack；TIA）の精査で入院中の80歳・男性。入院18日目に右側の腰痛と排尿障害（尿が出にくい）が出現。尿検査で膿尿とグラム染色で多数のグラム陰性桿菌が見られたため腎盂腎炎としてセファクロルカプセル（1回500mg 1日3回）開始。入院20日目に尿培養の結果が判明し，セファクロルに感性の *Escherichia coli* が 8×10^7 CFU/mL 検出された。その後の経過は良好であったが，入院24日目にセファクロル開始前（入院18日目）に提出された血液培養が陽性となり主治医から抗菌薬の選択について相談を受けた。提案は？。月刊薬事，62(16)：3047, 3160-3166, 2020, 12.
- 16 濱田洋平，青木洋介：目標達成に向けて 急性気道感染症。臨牀と研究 特集：外来における抗微生物薬の正しい使い方，97(8)：941-945, 2020, 8.
- 17 濱田洋平：新型コロナウイルス感染症 一人ひとりができる対策を知っておこう。佐賀県医師会 健康情報誌「はつらつ通信」 vol. 65, 2020, 10.

学会発表

国内全国規模の学会

- 1 青木洋介：Meet The Expert：臨牀的脈絡の中で考える空気感染対策。第35回日本環境感染学会総会・学術集会。2020, 2, 14-15. プログラム集, p45.
- 2 青木洋介：バロキサビルが我が国の医療界で着目される理由：Bipolar perspective. 第94回日本感染症学会総会・学術講演会。2020, 8, 19-21(現地及びLIVE配信, オンデマンド配信：2020, 10, 28まで). プログラム集.
- 3 青木洋介：抗インフルエンザ薬の適正使用：感染制御に従事する医師の立場から（パネルディスカッション）。第68回日本化学療法学会総会。2020, 9, 12-14(オンデマンド配信：2020, 10, 16-11, 7). 講演抄録集.
- 4 浦上宗治：My Favorite Papers 薬剤師の視点から。第35回日本環境感染学会総会・学術集会。2020, 2, 14-15. 電子抄録集.
- 5 浦上宗治，加賀谷英彰，山崎伸吾，沖島里恵，丹羽 隆，富田隆志，高山和郎，徳江 豊，村上啓雄，岡 祐介，眞田彩華，濱田洋平，青木洋介：シンポジウム34 感染制御活動におけるリーダーシップと今後の展望 抗菌薬サーベイランス。第94回日本感染症学会総会・学術講演会。2020, 8, 19-21 (現地及びLIVE配信, オンデマンド配信：2020, 10, 28まで). プログラム抄録集, p. 202-203.
- 6 浦上宗治，岡 祐介，濱田洋平，於保 恵，草場耕二，青木洋介：ST 合剤投与後のクレアチニン上昇は偽性上昇か，それとも真の腎障害か。第68回日本化学療法学会総会。2020, 9, 12-14 (オンデマンド配信：2020, 10, 16-11, 7). プログラム抄録集, p. 313.
- 7 浦上宗治：Meet the expert 10 救急医と AST で治療する壊死性筋膜炎，ガス壊疽 AST による壊死

性軟部組織感染症の診療支援. 第68回日本化学療法学会総会. 2020, 9, 12-14 (オンデマンド配信: 2020, 10, 16-11, 7). プログラム抄録集, p. 271.

- 8 浦上宗治, 加賀谷英彰, 山崎伸吾, 沖畠里恵, 丹羽 隆, 冨田隆志, 徳江 豊, 高山和郎, 村上啓雄: シンポジウム1 薬剤耐性 (AMR) 対策に感染対策連携共通プラットフォーム (J-SIPHE) をどう活かすか 国公立大学病院間における活用状況. 第30回日本医療薬学会年会. 2020, 10, 24-11, 1. 電子抄録集 S01-4.
- 9 浦上宗治: シンポジウム34 TDM 研究が見出すクリニカル・クエスチョンとエビデンスの創出〜臨床薬剤師による TDM の発展を期待して〜抗菌薬 TDM で感染症のクリニカル・クエスチョンに挑む. 第30回日本医療薬学会年会. 2020, 10, 24-11, 1. 電子抄録集 S39-2.
- 10 岡 祐介, 濱田洋平, 浦上宗治, 於保 恵, 草場耕二, 青木洋介: 当院における溶血性連鎖球菌菌血症の臨床的検討. 第94回日本感染症学会総会・学術講演会. 2020, 8, 19-21 (現地及び LIVE 配信, オンデマンド配信: 2020, 10, 28まで). プログラム抄録集, p. 303.
- 11 濱田洋平: MRSA 感染症 検査と臨床の橋渡し. 第31回日本臨床微生物学会総会・学術集会. 2020, 1, 31-2, 2. プログラム抄録集, p. 188.
- 12 濱田洋平, 岡 祐介, 浦上宗治, 於保 恵, 草場耕二, 金子ゆかり, 三原由起子, 青木洋介: 当院における各診療科の血液培養採取状況と抗菌薬使用量の比較検討. 第35回日本環境感染学会総会・学術集会. 2020, 2, 14-15. プログラム抄録集, p. 96.
- 13 濱田洋平, 於保 恵, 草場耕二, 青木洋介: エキスパートに聞きたいーこんな症例どう治療する?ーメタロβ-ラクタマーゼ産生腸内細菌科細菌による血流感染症. 第94回日本感染症学会総会・学術講演会. 2020, 8, 19-21 (現地及び LIVE 配信, オンデマンド配信: 2020, 10, 28まで). プログラム抄録集, p. 189.

地方規模の学会

- 1 青木洋介: 今日の医療における各種検査の適正使用 (教育セミナー). 第68回日本化学療法学会西日本支部総会/第90回日本感染症学会西日本地方会学術集会/第63回日本感染症学会中日本地方会学術集会. 2020, 11, 5-7. 抄録集.
- 2 岡 祐介, 濱田洋平, 浦上宗治, 於保 恵, 草場耕二, 青木洋介: 複数菌が原因と考えられた頭蓋底骨髄炎の1例. 第68回日本化学療法学会西日本支部総会/第90回日本感染症学会西日本地方会学術集会/第63回日本感染症学会中日本地方会学術集会. 2020, 11, 5-7. プログラム抄録集, p. 337.
- 3 岡 祐介: 4) 事例検討. 第57回抗菌薬適正使用生涯教育セミナー (半日コース) Advanced. 2020, 11, 5. プログラム抄録集, p. 52.
- 4 濱田洋平: 『感染症医のキャリアを語ろう』私が感じる感染症診療の魅力. 第68回日本化学療法学会西日本支部総会/第90回日本感染症学会西日本地方会学術集会/第63回日本感染症学会中日本地方会学術集会. 2020, 11, 5-7. プログラム抄録集, p. 180.
- 5 浦上宗治, 岡 祐介, 濱田洋平, 於保 恵, 青木洋介: AmpC 過剰産生グラム陰性菌に対する最適治療の検討ーPK-PD 解析と臨床疫学的解析からー. 第68回日本化学療法学会西日本支部総会/第90回日本感染症学会西日本地方会学術集会/第63回日本感染症学会中日本地方会学術集会. 2020, 11, 5-7. プログラム抄録集, p. 311.

その他の学会

- 1 青木洋介：インフルエンザの適正な診断と適正な薬効評価：特にバロキサビルについて。インフルエンザセミナー in Oita (特別講演)。2020, 1, 17. 抄録集。
- 2 青木洋介：インフルエンザ診療の留意点。宇佐市郡後高田医師会学術講演会。2020, 1, 23. 抄録集。
- 3 青木洋介：インフルエンザ診療の留意点：バロキサビルの正しい薬効評価について。徳島インフルエンザセミナー。2020, 1, 28. 抄録集。
- 4 青木洋介：不明熱に対する診療アプローチ。日本病院薬剤師会令和元年度感染制御専門薬剤師講習会。2020, 2, 1. 抄録集。
- 5 青木洋介：AST が機能するにはヒトの行動・社会科学と組織特性を認識した対応が必要です。第4回鹿児島県病院薬剤師会学術大会 (特別講演)。2020, 2, 2. 抄録集。
- 6 青木洋介：18秒・20ワットの思考：冬季呼吸器感染症診療のピットフォール。長崎呼吸器感染症研究会。2020, 2, 20. 抄録集。
- 7 青木洋介：抗菌薬適正使用の推進：施設内優先度と実践について。名古屋市立大学 Infection Seminar。2020, 9, 9. 抄録集。
- 8 青木洋介：Not a single element：感染防止と抗ウイルス薬による今冬の外来診療。COVID20とインフルエンザを考える会 in 栃木。2020, 10, 23 (19:00～ 自室より web 配信)。抄録集。
- 9 青木洋介：Not a single element：感染防止と抗ウイルス薬による今冬の外来診療。春日部市小児科医会・医師会学術講演会。2020, 10, 27 (19:00～ 自室より web 配信)。抄録集。
- 10 青木洋介：冬季発熱患者の診療アプローチと医療従事者の感染対策。播磨インフルエンザセミナー。2020, 10, 29 (19:00～ 自室より web 配信)。抄録集。
- 11 青木洋介：Not a Single Element：感染防止策抗ウイルス薬治療による今冬の外来診療。宇都宮市医師会学術講演会。2020, 11, 12 (19:00～ 自室より web 配信)。抄録集。
- 12 青木洋介：冬季発熱患者の診療アプローチと医療従事者の感染対策。インフルエンザセミナー in 横浜。2020, 11, 18 (19:00～ 自室より web 配信)。抄録集。
- 13 青木洋介：過去に類を見ない薬剤、前例のない感染症が人心に及ぼす影響：適正な評価と判断の重要性。美作医会学術講演会。2020, 11, 24 (19:00～ 自室より web 配信)。抄録集。
- 14 青木洋介：院内肺炎の抗菌薬選択を見直す。呼吸器感染症 Virtual Meeting in OKAYAMA。2020, 11, 27 (19:00～ 自室より web 配信)。抄録集。
- 15 青木洋介：院内肺炎の抗菌薬選択を見直す。鹿児島感染症 Virtual 講演会。2020, 11, 30 (19:00～ 自室より web 配信)。抄録集。
- 16 青木洋介：抗菌薬が細菌、患者、医療に及ぼす影響：Prudent Antimicrobial Use。感染症 Virtual Meeting。2020, 12, 2 (19:00～ 自室より web 配信)。抄録集。
- 17 青木洋介：冬季発熱患者の診療アプローチと医療従事者の感染対策。Influenza Forum in 長岡。2020, 12, 3 (19:00～ 自室より web 配信)。抄録集。
- 18 青木洋介：Not a single element：感染防止と抗ウイルス薬による今冬の外来診療。感染症 web セミナー in 日立。2020, 12, 4 (19:00～ 自室より web 配信)。抄録集。
- 19 青木洋介：冬季外来診療における感染防止策・鑑別診断・治療の意思決定について：Standard of Excellence。Influenza Web Conference。2020, 12, 10 (大阪市)。抄録集。

- 20 青木洋介：慣習的な抗菌薬投与に潜むリスクの認識と是正. 感染症 Virtual Meeting in 東京. 2020, 12, 14 (19:00～ 自室より web 配信). 抄録集.
- 21 青木洋介：Not a single element：感染防止と抗ウイルス薬による今冬の外来診療. 茨城県感染症カンファレンス. 2020, 12, 15 (19:00～ 自室より web 配信). 抄録集.
- 22 青木洋介：冬季発熱患者の診療アプローチと医療従事者の感染対策. 南区内科医会学術講演会 (福岡市医共催). 2020, 12, 16 (19:00～ 自室より web 配信). 抄録集.
- 23 青木洋介：過去に類を見ない薬剤, 前例のない感染症が人心に及ぼす影響：適正な評価と判断の重要性. 第568回北九州地区小児科医会例会. 2020, 12, 17 (北九州市). 抄録集.
- 24 青木洋介：冬季発熱患者の診療アプローチと医療従事者の感染対策. 直方鞍手医師会学術講演会. 2020, 12, 21 (直方市). 抄録集.
- 25 青木洋介：冬季発熱患者の診療アプローチと医療従事者の感染対策. 草津栗東医師会学術講演会. 2020, 12, 26 (草津市). 抄録集.
- 26 浦上宗治： β ラクタム以外の内服抗菌薬を使いこなす. 第12回福岡県病院薬剤師会学術大会 (教育講演). 2020, 1, 26. 抄録集.
- 27 浦上宗治：病棟薬剤師の感染症診療への第一歩～AMR時代の標準装備の知識とは～S1-3血流感染症. 第11回九州山口薬学会ファーマシューティカルケアシンポジウム. 2020, 2, 8-9. 抄録集.
- 28 浦上宗治：基本的抗菌スペクトルの理解に基づく抗菌化学療法 3. 各論 4) 抗菌薬投与設計 (ARCを含む). 第54回抗菌薬適正使用生涯教育セミナー (1日コース) Basic. eラーニング. 抄録集.
- 29 浦上宗治：FACTFULNESSで実践する抗菌薬適正使用－思い込みを乗り越え, 正しく抗菌薬と向き合う－. 石巻赤十字病院勉強会. 2020, 8, 6. 抄録集.
- 30 浦上宗治：抗菌化学療法の個別化で患者予後の改善に挑む. 2020 (令和2年) 年度 若手研究者講話 (医療薬学系) (明治薬科大学). 2020, 10, 17. 抄録集.
- 31 浦上宗治：明日から実践したくなる！薬剤師による抗菌薬適正使用の極意. 第672回福岡地区勤務薬剤師会例会. 2020, 11, 11. 抄録集.
- 32 浦上宗治：耐性菌時代を乗り越え, 新しい抗菌薬適正使用の考え方. 感染症インターネット講演会 (主催: MSD 株式会社). 2020, 11, 13. 抄録集.
- 33 浦上宗治：すべての新人薬剤師に伝えたい, 抗菌薬適正用の理論と実践～感染症のケーススタディー～. 佐賀県病院薬剤師会令和2年度新採用薬剤師及び卒後教育研修会. 2020, 11, 15. 抄録集.
- 34 濱田洋平：当院における菌血症の診療状況と研修医教育. 第22回九州感染症・化療フォーラム. 2020, 1, 25. 抄録集.
- 35 濱田洋平：外来診療における抗菌薬適正使用. 佐賀県小児科医会学術講演会. 2020, 11, 10. 抄録集.

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額 (千円)
教授	青木 洋介	AIDS 予防財団	公益財団法人 助成事業 (代表)	HIV 感染者等保健福祉相談事業	750
教授	青木 洋介	塩野義製株式会社研究助成	奨学寄付サ ポート(代表)	臨床医の抗菌薬処方 の意思決定に影響 する因子の解析	1,200
教授	青木 洋介	第一三共株式会社研究助成	第一三共奨学 寄付プログラム (代表)	抗菌薬使用に関する 臨床医の意思決定 の背景と適正処方 への行動変容を促す ことを目的とする 研究	300
教授	青木 洋介	大鵬薬品株式会社研究助成	奨学寄付サ ポート(代表)	院内菌血症の初期 抗菌薬選択を最適 化する臨床疫学的 研究	300

学術(学会)賞

職名	氏名	学術(学会)賞名	受賞課題
病院助教	浦上 宗治	JIC Reviewer of the Year 2019	
病院助教	浦上 宗治	日本化学療法学会学術奨励賞	Clinical pharmacokinetic and pharmacodynamic analysis of daptomycin and the necessity of high-dose regimen in Japanese adult patients